廿日市市総合計画審議会 第2回会議録（要点）

日時：令和6年10月17日（木）18時半～

場所：はつかいち文化ホールウッドワンさくらぴあ
リハーサル室

1 開会

2 第1回審議会での保留事項の回答

（地域別の詳細な実態把握について）

事務局	<ul style="list-style-type: none">人口等に関しては、小学校区単位での詳細な分析を行い、現状を細かく把握できるようにする。大野地域では、市民アンケートで「うるさい・騒音がある」と回答した割合が市内の他地域と比較して多かった。要因としては、幹線道路や線路沿いに立地する住居数が他の地域と比較して多いことが影響しているのではないかと。
-----	--

3 議題

(1) 次期廿日市市総合計画基本構想骨子案について（資料3）

（全般について）

委員	<ul style="list-style-type: none">「廿日市市では」の内容をもう少し深めた方が良い。
委員	<ul style="list-style-type: none">現在の構成では、全国的な社会潮流の部分で「廿日市市では」という市に関する項目があり、その後にも「廿日市市の姿」が来ているので重複感がある。書き分けた方がわかりやすいのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none">廿日市市は、人口の9年連続社会増がポイントなので、それらを全面に押し出したほうが良い。

（掲載項目について）

委員	<ul style="list-style-type: none">現在掲載している社会潮流の項目を選ばれたコンセプト、また掲載の順番について理由があれば教えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none">全国的な社会潮流を網羅的に盛り込んだことに加えて、廿日市市に関わりの深い観光客やインバウンドの増加等を含んだ形にした。順番としては、特に人口減少や少子高齢化は、すべての分野に関係することなので最初に掲載している。

(価値観の多様化について)

委員	・ 価値観の多様化は、言葉の意味が非常に幅広く、現在の記載内容は移住に特化した内容であるため違和感がある。
会長	・ 年代別の価値観の違いなどが見える形に整理していくことが必要と考えており、内容を組み替えていくことを検討する。

(地域共生社会について)

委員	・ 現在、RMO（地域運営組織）の設立や運営に取り組んでいる地域もある。持続可能な地域づくりという点で地域が自分たちで課題解決に取り組んでいくという視点も含めてほしい
委員	・ ソフト面のまちづくりに加えてハード面のことも加わると良いと思う。例えば、障害のある方にまちの人はみんな優しいですが、1人で移動しようとする、ハード面の整備はまだです。

(グローバル社会について)

委員	・ 廿日市市内でも外国人労働者が増加しているが、実際どれくらいの人が定住しているかなどについても分析する必要がある。
----	--

(DXについて)

委員	・ DXについては、生産効率の向上や利便性の向上に加えて、「デジタル技術を用いて新たな価値を生み出していくこと」も視点として盛り込んでいただきたい。
----	--

(基本理念について)

委員	・ ウェルビーイングが唐突に出てくるため、使用する際には内容の丁寧な説明が必要である。 ・ ウェルビーイングを計画に盛り込んだ理由を説明してほしい。
事務局	・ 社会情勢が変化していく中でもそれぞれの市民が幸せを実感できるようなまちづくりができれば、市民の方が社会的にも、身体的にも、精神的にも幸福感を得られるようなまちづくりができるのではないかと思い、ウェルビーイングというワードを入れてはどうかと考えた。

委員	・ 転入超過が続いているが、転入者はどういう方なのか、何を求めて廿日市市に来られたのか、そういったことを分析することで廿日市らしさや良さが出てくるのではないか。それが基本理念の幸せにつながり、昔から住んでいる人も、転入されてきた方もこの地に良さを感じて暮らし続けたいと思っていることが表現できると思う。
----	---

委員	<ul style="list-style-type: none"> 私の住んでいる地域は、小さな地域であるが最近移住者が増えている。移住してきた要因を聞くと、「人が優しいから」と言われる。 以前は地縁血縁で固まった地域だったが、少子高齢化が進んだことで自分たちだけではどうにもできなくなり、新しく入ってくる人「ここががんばろう」との雰囲気がかもしだされてきたのではないかと思う。こうした実体験を踏まえ、ウェルビーイングの所に、「わくわくする」という文言を入れるのが良いと思う。
-----------	---

(将来像について)

委員	<ul style="list-style-type: none"> 10年後の将来像はあるが、5年後のマイルストーンが必要ではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画で示していきたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> 10年後には、ますます外国人の人材や労働力が無視できないと思うので、外国人の視点も入れていただきたい。
-----------	---

(宮島地域について)

委員	<ul style="list-style-type: none"> 宮島地域では、今後100年の宮島を見据えた構想を令和2年に作成している。人口は減少しているが、他地域と比較すると人口減少はやや抑制されていると感じている。 労働力不足は、顕在化しており旅館でも満室ではなく許容範囲の中で運営しているような状況。今後は外国人の雇用も含めて労働環境の整備に取り組む必要性を感じている。 来年には幼稚園と保育園が一つになってこども園となるので、働きやすい環境の第一歩になると思っている。
-----------	--

(その他)

委員	<ul style="list-style-type: none"> 廿日市市の特徴の一つとして、中国地方最大の都市である広島市に隣接していることが挙げられる。こうした点もふまえて、廿日市市が中国地方や日本全国を見たときにどういう位置づけにあるのかという観点があるとよい。
-----------	---